

VSX懇談会 令和元年度第一回幹事会  
議事録

日時:令和2年2月14日(金)12時～

(ISSP Workshop 次世代放射光へのイノベーション開催日の昼食時間)

会場:東京大学物性研究所6階 和室

出席者(敬称略):

【出席】木村真一(会長)、尾嶋正治、木下豊彦、木村昭夫(Web 参加)、坂本一之、堀場弘司、吉信淳、

原田慈久(オブザーバー)、小森文夫(オブザーバー)、松田巖(オブザーバー)

【欠席】虻川匡司、雨宮健太、奥田太一、組頭広志、近藤寛

1) 任期満了に伴う会長・幹事選挙について話し合われた。

- 次期会長候補として虻川匡司氏が木村会長より推薦され、幹事会で承認された。
- 次期会長及び次期幹事について選挙を実施することにした。選挙委員会(原田委員長、松田委員)が組織され、幹事会で承認された。
- 選挙委員会と選挙方法について検討が行われた。選挙は一回とし、会員は名簿から 5 名を選出することとした。投票数及び投票手順について意見を交わした。

2) VSX懇談会の今後もふまえ、総合的に討論を行った。

- 次世代放射光施設の建設が開始され、東大アウトステーション計画の目的がほぼ達成したと考えてよい段階となり、新たな計画を検討する時期となった。東大アウトステーション計画開始当時の経緯について尾嶋委員より説明があった。
- VSX懇談会の次世代放射光施設及び国内放射光施設への関わりについて、次期会長と共に方針を検討する必要がある、との意見があった。
- VSX懇談会幹事より、次世代放射光施設建設に対する東大物性研 SOR 施設の関わりに対する意見があった。新たな施設の運営体制においても、これまで SPrng-8 BL07LSU アウトステーションビームラインで実施されてきた共同利用のように大学及び研究機関の研究者及び学生が放射光実験を実施できることが望まれた。